

ゼットエムピー、自動運転を見据えた未来のクルマのインターフェイスを提案

株式会社ゼットエムピー(東京都文京区、代表取締役社長:谷口恒)はこの度、自動運転を見据えた全く新しい発想のクルマのインターフェイス「Neuro-Scape (ニューロスケープ)」を発表いたしました。本インターフェイスでは、車速や燃料残量といった項目に留まらず、車載CANから得られる操作系、駆動系、車内環境系等様々なクルマの状態を個々の「ノード」として表現し、それらが有機的に組み合わせながら機能していることを表現しています。



未来のインターフェイス「Neuro-Scape」

現在開催中の「人とくるまのテクノロジー展 2013」及び来週開催される「スマートコミュニティ Japan2013」において、実際の走行 CAN データによるデモンストレーションを実施いたします。

【Concept・背景】

車のダッシュボード、インパネのデザインコンセプトは、スピードやエンジン回転数、燃料の残量など実用的なもので百年以上変わっていません。しかし、自動運転、ロボットカーの時代になれば、現在の“メーター”は意味を持たなくなるでしょう。車の今の状況を、感情として表現してもよいのではないのでしょうか。それが車を理解することになり、人との調和につながるのではないのでしょうか。

当社は 12 年前に人型ロボットの開発からスタートし、現在車型ロボットを開発していますが、一貫して、「人と機械を最高に調和させる技術とサービスの提供」を目指しています。そして今、車のコンピュータが生み出す膨大なデータと、人間の頭脳が交わる未知数の可能性に大きな期待を抱いています。

今回、その一つの試みとして、クリエイターユニット sense+Taketo Kobayashi とのコラボレーションにより、未来の車のインターフェイス「Neuro-Scape (ニューロスケープ)」が誕生しました。近い将来、どんな車に乗っていても、いつでも自分の好きなインターフェイスが選べる時代が来るでしょう。私たちの提案がその第一歩になれば幸いです。

ムービー：自動運転を見据えた未来のクルマのインターフェイスを提案

http://www.zmp.co.jp/movie/new_ui.html

ムービー：ニューロスケープ

http://www.zmp.co.jp/movie/neuro_scape.html

【クリエイターからのメッセージ】

Neuro-Scape (ニューロスケープ) ~クルマノミルユメ~

クリエイターユニット sense+TAKETO KOBAYASHI

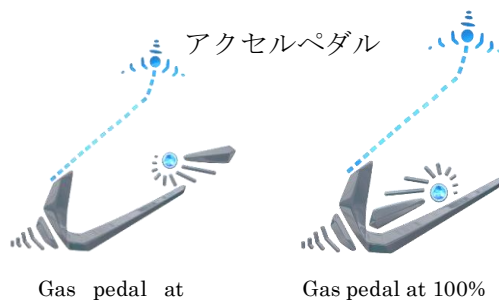
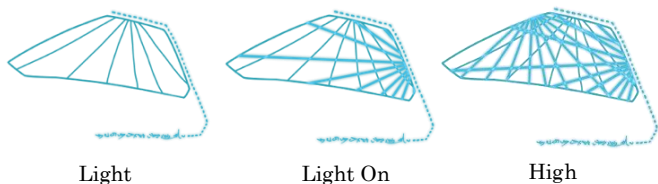
ヒトが持つ複雑な“感情”などの働きも、要素に分解していくと結局は、シナプスの on/off に行き着く(だからといって魂がアル・ナシ云々言っているんじゃないよ!)。シンプルな機能が雲霞の如く重なり複雑な現象を生んでいるのだ。ZMP の車にも様々な計測機器が搭載され、外界からの情報や内観的

な情報を多層的に蓄積している。人間の脳のシステムほど複雑ではないが、そこに情報の海からサルベージされた“感情”の様なものも生まれてもおかしくないのではないだろうか…。そこに生まれた“感情”がインターフェイスとなりヒトとクルマをより有機的に結びつける…。そんな妄想からこのデザインは始まった。

ヒトが夢を見るように、クルマにも夢を見ることができるかもしれない。Neuro-Scape はそんなクルマの精神世界をカタチにしたものである。

【ノード(パラメータ)紹介(一部)】

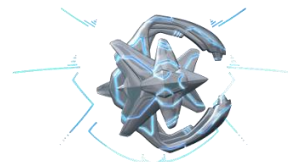
ヘッドライト



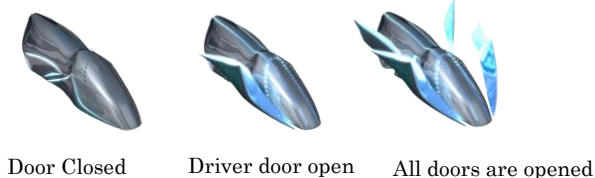
シフトポジション



ステアリング



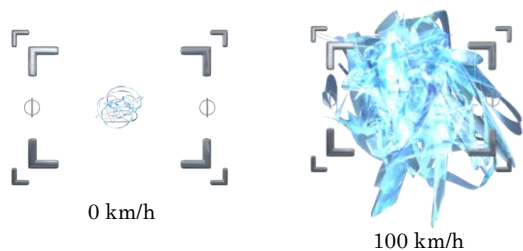
ドア



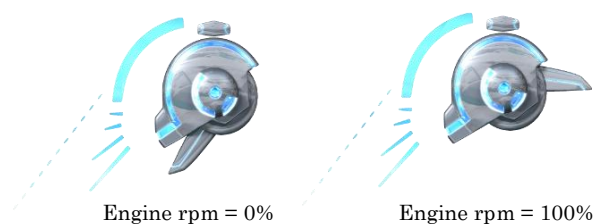
バッテリー充電状態



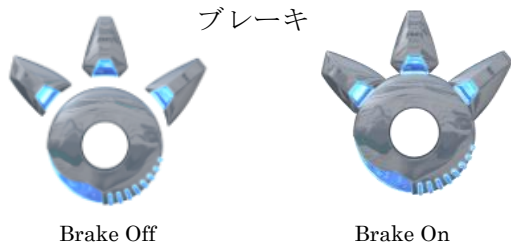
スピード



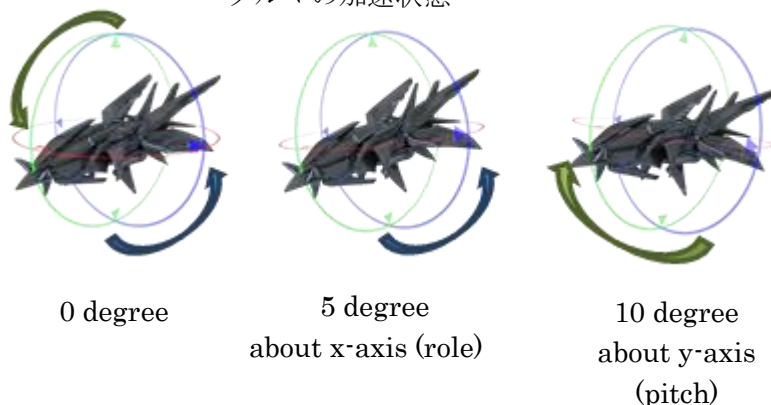
エンジン回転



ブレーキ



クルマの加速状態



【クリエイター紹介】

坂巻善徳 a.k.a Sense <http://www.sensepeace.me/>

2002年5月の初個展からアーティストとしての活動を開始後、個展、グループ展などへの作品制作の他、ライブペインターとしても日本、海外ともに展開。クラブイベント、企業イベント問わず、様々な分野で多数のコラボレーション作品を制作、その作品を通して世界に Peace&Happiness を創り出し続けている。

映像表現としては、様々な映像クリエイター、ミュージシャンとコラボレートした映像作品を制作の他、2005年から始まった、VJチーム:DaDa KingZとともにVj+ライブペインティングのスタイルを確立、ドバイ、台湾、ラトビア等のイベントに招聘される。2011年にはフランス:リヨンにある現代美術官『M.A.C. LYON』にてCREATORS PROJECTとの企画で、VJショーケース及びライブペインティングを行った。

おもなクリエイティブプロデューサーとして、東京ミッドタウン『DESIGN TOUCH GARDEN』を日本デザイン振興会と建築集団 upsetters architect と制作後、『MID-SPACE』『Smile Cake, Happy Cake』『あじさい ROMANCE』『フローリストレビュー』『いつつのゆびわ』等を東京ミッドタウンで展開。その他『SUMMER SONIC 10th Anniversary』のオブジェ制作、マカオ『Cafe Little Tokyo』のアート&クリエイティブディレクション及び壁画制作、Mercedes Benz 主催イベント『LVE PAINTORS DELIGHT』のトータルプロデューサー等。

映像集プレイリスト

<http://www.youtube.com/watch?v=oN-pun94y7Y&list=PL9BE7BF597AF2D46B>

小林武人(3DCG デザイナー) <https://vimeo.com/user7375530/videos>

プロフィール:

慶応義塾大学環境情報学部卒。東京工科大学クリエイティブ・ラボ、株式会社ゴンゾを経てフリーランスに。3DCGモデリング/デザインのスペシャリスト。No Boundary を目標に掲げ、太古縄文から現在のデザイン、ファインアートとサブカルチャ、アートと技術の Boundary (境界)を消し去ったデザイン/映像を展開する。

参加作品:

Hope online program「Circle of the World」(2013)デンバー公演

:アニメーション制作、プロジェクション・ライブオペレーション

Theatre of Yugen「Mystical Abyss」(2012)サンフランシスコ公演

:アニメーション制作、プロジェクション・ライブオペレーション

TV アニメ「レベル E」

:異星人文明デザイン(デザイン、モデリング)

TV アニメ「巖窟王」

:デザイン、モデリング

オリジナルアニメーション「Jomonism 祭」

:SIGGRAPH Asia 2010 アニメーション・シアター ノミネート

等、多数

【出展情報】

以下の展示会にてご紹介致します。

◇「人とくるまのテクノロジー展 2013」 開催日:5月22日(水)~24日(金)

主催:自動車技術会/会場:横浜国際会議場(パシフィコ横浜)展示ホール ブース No 105

◇「スマートコミュニティ Japan2013」 開催日:5月29日(水)~31日(金)

主催:日刊工業新聞社/会場:東京ビックサイト 東1・2ホール ブース:SC-81

★ZMP ブースの見どころ http://www.zmp.co.jp/zmp_exposition_201305.pdf

【本件に関するお問合せ】

株式会社ゼットエムピー 今西 TEL: 03-5802-6901 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: e-nuvo@zmp.co.jp

【株式会社ゼットエムピー】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 文京区小石川 代表取締役社長: 谷口 恒



RoboCar® 1/10



RoboCar® MV2



RoboCar® HV



RoboCar® PHV

「人と機械を理解して最高に調和させる技術とサービスを提供する」というミッションのもと、「走る、曲がる、止まるを制御するプラットフォーム RoboCar®シリーズの販売」、「人間計測に加えクルマの計測、外界の計測、それら三位一体の計測を行い、人にも環境にも優しいクルマ作りの支援」、「ロボット技術によるマーケットリサーチを行う Robot Marketing™、実車ベンチマーク等のテスト代行を行う RoboTest®ビジネス」を行っています。2001年1月文部科学省傘下の科学技術振興機構から技術移転を受け創業。日本ロボット学会実用化技術賞、経済産業省「今年のロボット大賞最優秀中小・ベンチャー企業賞、中小企業基盤整備機構理事長賞」など数多くの賞を受賞。私たちはこれからも、ロボット技術やサービスで、イノベティブな製品を生み出してまいります。

RoboCar®, RoboTest®はゼットエムピーの登録商標です。